

授業科目(ナンバリング)	日本語教授法B (CB302)			担当教員	佐野 香織		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
日本語によるコミュニケーション活動に必要な能力(「受容」「産出」「やりとり」「テキスト」「方略」:国際交流基金 URL「JFスタンダード」)を、学習者の目的に合わせ、向上させるスキルを学んでいく。							⑥⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	日本語教材とは何かを理解し、分析することができる。日本語教材分析から教案作成、授業設計、授業実践、の一連の流れを行うことができる。模擬授業での自己のパフォーマンスを省察的に振り返ることができる。				教案・教材分析/作成	20%	
					模擬授業	30%	
					レポート	20%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	模擬授業の担当者的パフォーマンスに対して、建設的なフィードバックを与えることができる。 模擬授業の担当者とその他の学生が、思いやりの気持ちを持って意見を交換し、学び合うことができる。				フィードバックシート	20%	
					ディスカッション	10%	
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
教案・教材分析/作成で20%、模擬授業(教案・実施)で30%、レポートを20%、模擬授業担当者に対するフィードバックを20%、ディスカッションを10%で、評価する。各課題のフィードバックは授業内で行う。							
授業の概要							
様々な異なる理論、狙い、目的を持った複数の初級日本語教科書を対象に、①教材分析、②グループで教案作成、模擬授業を行い、授業のあり様を体験してもらおう。教員は授業の展開の仕方について指導したり、模擬授業の準備や模擬授業での学生のパフォーマンスに対して助言を与えたりする。この授業の平均的な1コマあたりの授業外学修時間は180分とするが、模擬授業準備等で必要な時間の確保を推奨する。							
教科書・参考書							
教科書: 『みんなの日本語初級Ⅱ 第2版 本冊』(2014)スリーエーネットワーク 『できる日本語 初級』アルク 『まるごと 初中級』国際交流基金 深澤のぞみ他(著)『日本語を教えるための教材研究入門』くろしお出版 参考書: 適宜指定する 指定図書: 義永美央子(編)(2019)『ことばで社会をつなぐ仕事 ー日本語教育者のキャリア・ガイドー』凡人社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
模擬授業担当者は、時間に余裕をもって、教案や教材の準備を行うこと。 担当者以外の者は、次回の授業範囲を予習し、導入項目をよく理解したうえで授業に参加すること。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	シラバスを中心に本授業の、目標、評価、授業の進め方等について説明する。	予習：シラバスを読む 復習：シラバス確認
2	教材理解	日本語教材とは何かを理解する。 「教科書で学ぶ」と「教科書を学ぶ」の違いを理解する。	予習) 外国語の学習計画をたてる 復習) 教科書の役割を説明する
3	教科書分析①	コースデザインにおける教科書分析を理解し、コースの目的と教科書の内容の検討ができるようになる。	予習) これまで使ったことのある外国語教科書の内容を記述する 復習) 日本語教材を検討する
4	教科書分析②	グループで教材1を分析し、発表する。	予習) 該当教材の分析をする 復習) グループでのディスカッションをまとめる
5	教科書分析③	グループで教材2を分析し、発表する。	予習) 該当教材の分析をする 復習) グループでのディスカッションをまとめる
6	日本語を教えるということ	外部講師による講演	予習) 『ことばで社会をつなぐ仕事ー日本語教育者のキャリア・ガイドー』を読んで質問を考える
7	指導法①	教材分析を行った教材を対象に、授業構成、教案作成方法を検討する。	予習) 指定のテキストの該当部分を読んでくる 復習) 各自教案を書いてくる
8	指導法②	グループで担当の教案を作成、ピア検討を行う	予習) 教案作成 復習) 教案の更新、教材作成
9	指導法③	模擬授業1、担当者の省察、全体でのディスカッション	模擬授業1 授業準備 省察 予習) 教案作成 復習) 教案の更新、教材作成
10	指導法④	模擬授業2、担当者の省察、全体でのディスカッション	模擬授業2 授業準備 省察 予習) 教案作成 復習) 教案の更新、教材作成
11	指導法⑤	模擬授業3、担当者の省察、全体でのディスカッション	模擬授業3 授業準備 省察 予習) 教案作成 復習) 教案の更新、教材作成
12	日本語を教える現場訪問	日本語教育の現場をオンラインで訪問する	予習：訪問先調査 復習：報告レポート作成
13	指導法⑥	模擬授業4、担当者の省察、全体でのディスカッション	模擬授業4 授業準備 省察 予習) 教案作成 復習) 教案の更新、教材作成
14	指導法⑦	模擬授業5、担当者の省察、全体でのディスカッション	模擬授業5 授業準備 省察 予習) 教案作成 復習) 教案の更新、教材作成
15	ふりかえり	前期と後期の授業を振り返り、自己の成長を言語化する。	予習) 日本語教員養成課程を履修した経緯やこれまでの学習過程についてまとめる。 復習) 省察レポートを完成する。